

公表

児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	AKIDSもりのみや		
○保護者評価実施期間	令和8年1月20日		令和8年2月15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	39	(回答者数) 16
○従業者評価実施期間	令和8年1月15日		令和8年1月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 3月 1日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・運動経験豊富なスタッフが多い為、臨機応変に対応が出来る(理学療法士等が揃っている。)	・問題点を見つけやすく、それに対する改善・対応がしやすい。	・専門的なスタッフを中心にスタッフ間で共有し意識付けを図っていく。
2	・運動に特化しているのでアイテムが豊富。	・学校の体育カリキュラムに合わせて運動内容を変更するなど柔軟な対応も行っている。	・同じアイテムでも多様な使い方ができるよう研修や内部勉強会を実施することで、支援の幅を広げる
3	・在籍人数が多いので取り組んだ内容を統計が取りやすく、改善や改良がしやすい。	・利用者様、保護者様の頂いたご意見を事業所内で反映し活かしながら取り組んでいる。	・事業所内だけでなく事業所間で共有し統計を取っていく。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・玄関付近でフィードバックを行っているため、次の利用者様の来所時間と重なると動線が重なり、手狭に感じられる状況がある。 ・フィードバックの際に、お子さまに聞かれたくない内容をお伝えしにくい状況がある。	・プライバシーに十分配慮できる環境が整いにくい。	・親子分離でお話できる時間を設ける、もしくは後日改めてお電話やLINE等でお伝えするなど、内容に応じて方法を選択できる体制を整える。
2	・利用者様の利用時間が限られている。 ・個別運動療育の為、1クールごとに受け入れできる人数が限られている。	・結果、成果が出づらい ・集団での活動内容が少ない。	
3	・個室スペースが確保しづらいので落ち着ける場所が少ない。	・イレギュラーが起きてしまった際に息抜きや気分転換がしづらい。	・パーティションや目隠しを活用し簡易で個室スペースを確保している。

公表

児童発達支援事業所における自己評価結果

事業所名		AKIDSもりのみや				公表日 令和8年 3月 1日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	2	3	・ご利用時間によっては少し狭いと感じる時がある。	・1スペースを4分割してローテーションで取り組めるようにしている。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	1			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		・きれいで清潔に保つことを心掛けている。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	2	3			
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4	1	・統一されたPDCAサイクルではないがスタッフそれぞれが意識はしている。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	1			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	4			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	3	2			
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4	1			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5				
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5				
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	1			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5				

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	5			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	1		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	1		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	1		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	2		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	2	3		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	1	4		
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	1	4		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		5		園の様子や小学校の様子を毎回聴取はしていますが「交流」という形は取っていません。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5			
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	3		以前は実施していたが、現在は実施しておりません。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4	1		
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5			

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5				
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5				
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		5			
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5				
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4	1			
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5				
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5				
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		5			
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5				
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5				
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5				
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	2	3		保護者様から対応をお聞きしています。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5				
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	1			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	3	2			
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5				
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5				

保護者等向け 児童発達支援評価表

公表日: 2026年3月1日

事業所名: 児童発達支援 AKIDSもりのみや

対象人数(保護者)40人 回答者数 16人 回収 40%

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	① こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	16				入口だけ少しスペースが気になる	利用者様同士や保護者様同士がぶつかり合うことのないよう、入口周辺の混雑緩和に努め、安心して出入りしていただける環境づくりを行ってまいります。
	② 職員の配置数は適切であると思いますか。	16					
	③ 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	15	1				
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	16					

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
適切な 支援の 提供	⑤ 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に 応じた専門性のある支援が 受けられていると思いますか。	14	1	1		もう少し発達障害児に接する 為に必要な勉強をしてほ しい。	研修への参加や事業所内 での学びの機会を増やし、 スタッフ一同、支援の質の 向上に向けて継続的に知 識・技術を深めながら精 進してまいります。
	⑥ 事業所が公表している支 援プログラムは、事業所の 提供する支援内容と合っ ていると思いますか。	15	1				
	⑦ 子どものことを十分に理 解し、子どもと保護者の ニーズや課題が客観的に 分析された上で、児童発 達支援計画(個別支援計 画)が作成されていると 思いますか。	14	2				
	⑧ 児童発達支援計画には、 児童発達支援ガイドライ ンの「児童発達支援の提 供すべき支援」の「本人 支援」、「家族支援」、 「移行支援」で示す支援 内容から子どもの支援に 必要な項目が適切に設 定され、その上で、具体 的な支援内容が設定され ていると思いますか。	15	1				
	⑨ 児童発達支援計画に沿っ た支援が行われていると 思いますか。	15	1				
	⑩ 事業所の活動プログラム が固定化されないよう工 夫されていると思います か。	15	1				
	⑪ 保育所や認定こども園、 幼稚園等との交流や、そ の他地域で他の子どもと 活動する機会があります か。	8	2	1	5		

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
保護者への説明等	⑫ 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	16					
	⑬ 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	16					
	⑭ 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	6	3	3	4	以前はオンラインでペアレントトレーニングがありましたが、途中で案内がなくなっています	
	⑮ 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	14	2				
	⑯ 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	14	1	1			
	⑰ 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	15	1				
	⑱ 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	2	2	2	10		
	⑲ こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	13	2		1		
	⑳ こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	16					
	㉑ 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	8	2		6		
㉒ 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	15			1			

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
非常時等の 対応	㉓	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	11	1	1	3		
	㉔	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	10		1	5		
	㉕	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	14	1		1		
	㉖	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	13			3		
満足度	㉗	こどもは安心感をもって通所していますか。	15	1				
	㉘	こどもは通所を楽しみにしていますか。	15	1				
	㉙	事業所の支援に満足していますか。	15	1				

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価総括表

○事業所名	AKIDSもりのみや		
○保護者評価実施期間	令和8年1月20日		令和8年2月15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	75	(回答者数) 37
○従業者評価実施期間	令和8年1月15日		令和8年2月15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 3月 1日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・運動経験豊富なスタッフが多い為、臨機応変に対応が出来る(理学療法士等が揃っている。)	・問題点を見つけやすく、それに対する改善・対応がしやすい。	・専門的なスタッフを中心にスタッフ間で共有し意識付けを図っていく。
2	・運動に特化しているのでアイテムが豊富。	・学校の体育カリキュラムに合わせて運動内容を変更するなど柔軟な対応も行っている。	・同じアイテムでも多様な使い方ができるよう研修や内部勉強会を実施することで、支援の幅を広げる
3	・在籍人数が多いので取り組んだ内容を統計が取りやすく、改善や改良がしやすい。	・利用者様、保護者様の頂いたご意見を事業所内で反映し活かしながら取り組んでいる。	・事業所内だけでなく事業所間で共有し統計を取っていく。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・玄関付近でフィードバックを行っているため、次の利用者様の来所時間と重なると動線が重なり、手狭に感じられる状況がある。 ・フィードバックの際に、お子さまに聞かれたくない内容をお伝えしにくい状況がある。	・プライバシーに十分配慮できる環境が整いにくい。	・親子分離でお話できる時間を設ける、もしくは後日改めてお電話やLINE等でお伝えするなど、内容に応じて方法を選択できる体制を整える。
2	・利用者様の利用時間が限られている。 ・個別運動療育の為、1クールごとに受け入れできる人数が限られている。	・結果、成果が出づらい ・集団での活動内容が少ない。	
3	・個室スペースが確保しづらいので落ち着ける場所が少ない。	・イレギュラーが起きてしまった際に息抜きや気分転換がしづらい。	・パーティションや目隠しを活用し簡易で個室スペースを確保している。

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

事業所名	AKIDSもりのみや				公表日	令和8年 3月 1日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	2	3	・小学校の中学年以上の利用者様が運動する際にはスペースが狭いと感じる時がある。	・1スペースを4分割してローテーションで取り組めるようにしている。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	1		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		・きれいで清潔な施設にすることを心掛けています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	1	4	・施設の構造上、個室部屋が難しい為、都度簡易スペースを作り対応している。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	3	2	・職員全員で統一されたPDCAサイクルを統一するために模索している。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	1	・アンケートはとっているが改善内容まで確認しているがまだまだ改善する必要があるため模索している。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	4		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	3	2	定期的に研修が行えるように模索している。	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4	1	スタッフによってばらつきがある。	・日々の運営において責任者を中心に共有していく。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4	1		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	1		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		集団活動のプログラムはスタッフ間で共有している。	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	1		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	1		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	4	1		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5			
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	1		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	2		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	1	4		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	1	4		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		5		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	1	4		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		5		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	1	4		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		5		
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4	1		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5			

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		5		
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4	1		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	3	2		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		5		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5		・フェイスシートをもとに確認している。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	2	3	・フェイスシートをもとに確認している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	1		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	3	2		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5			
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	3	2	・必要と感じる際には保護者様への解釈や理解に努めている。	・日々の運営において責任者を中心に共有していく。	

保護者等向け 放課後等デイサービス評価表

公表日: 2026年3月1日

事業所名: 放課後等デイサービス AKIDSもりのみや

対象人数(保護者)75人 回答者数 37人 回収 49.3%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	①	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	34	2		1		
	②	職員の配置数は適切であると思いますか。	36			1		
	③	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	35	1		1		
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	37					

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
適切な支援の提供	⑤	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	37					
	⑥	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	36	1				
	⑦	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	37					
	⑧	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	35	1		1		
	⑨	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	36			1		
	⑩	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	35	2				
	⑪	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	4	3	12	18		

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
保護者への説明等	⑫ 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	37					
	⑬ 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	36			1		
	⑭ 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	23	4	1	9		
	⑮ 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	37					
	⑯ 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	37					
	⑰ 事業所の職員から共感的に支援がされていると思いますか。	37					
	⑱ 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	4	3	10	20	機会があれば嬉しいです。 あれば参加したいです。	
	⑲ こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	35	1		1		
	⑳ こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	37					
	㉑ 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	26	2		9		
㉒ 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	36			1			

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
非常時等の 対応	⑳ 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	28	1		8		
	㉑ 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	25		1	11		
	㉒ 事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	35	1		1		
	㉓ 事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	33			1	3	
満足度	㉔ こどもは安心感をもって通所していますか。	37					
	㉕ こどもは通所を楽しみにしていますか。	37				息子達はAKIDSの先生方が大好きで、毎週楽しく通所させていただいております。いつもありがとうございます。	
	㉖ 事業所の支援に満足していますか。	36	1			<p>活動内容のフィードバックについて、子どもがあまり言われたくない、聞かれたくない等の意思表示をするようになった時、できれば親子分離で話が聞けるような形になれば良いと思っています。</p> <p>また体力測定や日頃の活動の成果などについても定期的に書面もしくはLINEでも良いのでいただきたいです。(学校やその他面談で説明する際、説明しやすいため)</p> <p>こちらにお世話になれてとても感謝しています。個人的に近場にできてほしいです。ドーム前や弁天町など</p> <p>子供の人見知りが酷く固定の先生にはしてもらっているが職員の入れ替わりがかなりあるのでちょっとずつ色々な職員の方に慣れることが難しく1人の先生に負担がかかってしまってる気がします。</p> <p>AKIDSに通所してから苦手な運動にも前向きにチャレンジできるようになりました。指導の先生方がいつも笑顔で気さくに接していただき、何かあれば柔軟に対応していただけるので大変感謝しております。</p>	フィードバック時には可能な範囲で、保護者様へのフィードバックを親子分離の形で行うなど、お子さまの前で無理に振り返りを求めない形を取り入れ、安心して通える環境づくりに努めてまいります。